

# 民謡が伝える心の唄

## 民謡

豊かな自然と四季に恵まれた日本。その中で、それぞれの風土で独自に発展し、有形のもの、無形のものがいままで、多様にはぐくまれてきた貴重な文化があります。今回は歳時や仕事など生活の唄として各地で伝承され続けている民謡についてお伝えします。

### 唄や踊りの遺伝子を 受け継ぎながら変化

日本の民謡は、日本各地のくらしの中で自然に生まれ、生活の唄として喜怒哀楽を表わすために親しまれてきた唄です。今では都心部を中心に、特に若い世代では唄われることが少なくなってしまうましたが、ソーラン節や安来節など、広く知られている民謡も少なくありません。

日本の民謡（唄や踊り）の特徴のひとつは稲作農耕と深くかかわっていること。その始まりは平安時代ではないかと考えられています。

民謡の数は2万曲を超えているといわれ、一般的に唄われ（踊られ）ている曲

だけでも1000曲は下りません。

仕事唄、祝い唄、祭祀唄、盆踊り唄、恋愛の唄、子守唄、お座敷唄などの種類も多種多様です。演奏には、三味線や尺八、太鼓を中心に、曲によっては横笛や胡弓、鉦（かね）、鈴などが用いられます。

非常にたくさん種類と曲数がある日本の民謡ですが、実は、こうしたさまざまな唄のほとんどが、いつ誰が作ったのか分からないという点が大きな特徴です。どんな唄や踊りでも必ず唄い始めた人、踊り始めた人がいるはずなのですが、それがあまりにも多くの人々に唄い踊られていくうちに、いつのまにか作者が不詳ということに

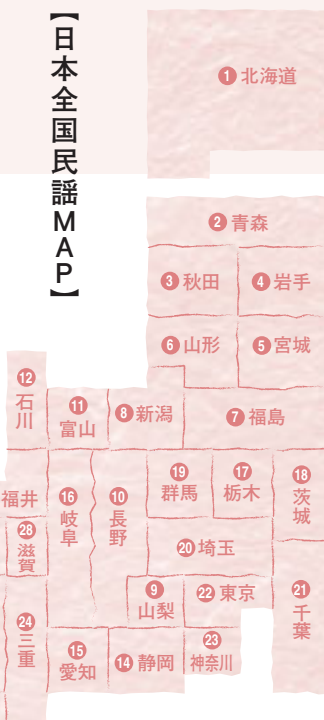
### 【日本全国民謡MAP】

- 1 北海道 ソーラン節・江差追分
- 2 青森 津軽じょんから節
- 3 秋田 秋田おぼこ
- 4 岩手 南部牛追唄
- 5 宮城 斉太郎節
- 6 山形 花笠音頭
- 7 福島 会津磐梯山
- 8 新潟 佐渡おけさ
- 9 山梨 武田節
- 10 長野 木曾節
- 11 富山 こきりこ節
- 12 石川 山中節
- 13 福井 三国節
- 14 静岡 ちゃつきり節
- 15 愛知 岡崎五万石

- 16 岐阜 郡上節
- 17 栃木 日光和楽踊り
- 18 茨城 磯節
- 19 群馬 八木節
- 20 埼玉 秩父音頭
- 21 千葉 銚子大漁節
- 22 東京 大鳥節
- 23 神奈川 箱根馬子唄
- 24 三重 伊勢音頭
- 25 大阪 河内音頭
- 26 兵庫 デカンショ節
- 27 京都 福知山音頭
- 28 滋賀 淡海節
- 29 奈良 吉野木挽唄
- 30 和歌山 串本節

- 42 長崎
- 41 佐賀
- 40 福岡
- 44 大分
- 43 熊本
- 45 宮崎
- 46 鹿児島

- 35 山口
- 32 島根
- 31 鳥取
- 26 兵庫
- 37 香川
- 36 徳島
- 38 愛媛
- 39 高知
- 18 福井
- 16 岐阜
- 10 長野
- 19 群馬
- 17 栃木
- 18 茨城
- 20 埼玉
- 9 山梨
- 22 東京
- 23 神奈川
- 15 愛知
- 14 静岡
- 30 和歌山
- 24 三重
- 29 奈良
- 25 大阪
- 27 京都
- 28 滋賀



- 31 鳥取 貝殻節
- 32 島根 安来節
- 33 岡山 下津井節
- 34 広島 三原ヤッサ節
- 35 山口 男なら
- 36 徳島 阿波よしこの節
- 37 香川 金毘羅船々
- 38 愛媛 伊予節
- 39 高知 よさこい節
- 40 福岡 黒田節
- 41 佐賀 佐賀箆節長持唄
- 42 長崎 長崎ぶらぶら節
- 43 熊本 五木の子守唄
- 44 大分 大分地方の子守唄
- 45 宮崎 刈干切唄
- 46 鹿児島 鹿児島小原節・浜節
- 47 沖縄 てんさぐぬ花

## 【民謡の分類】

① 田唄	田打唄・水かけ唄・田植唄・草取唄など
② 庭唄	稗搦唄・麦ふみ唄・米搦唄・味噌搦唄など
③ 山唄	山行唄・草刈唄・杣(きこり)唄・茶山唄など
④ 海唄	船卸唄・網起し唄・地曳網唄・鯨唄など
⑤ 業唄	大工唄・木挽唄・綿打唄・油絞唄など
⑥ 道唄	馬追唄・牛方唄・權唄・木遣唄など
⑦ 祝唄	嫁入唄・酒盛唄・物吉唄など
⑧ 祭唄	神迎唄・神送唄など
⑨ 遊唄	的射唄・鳥追唄・盆唄など
⑩ 童唄	子守唄・遊ばせ唄・手毬唄・御手玉唄など

なつてしまったようです。これは民謡が口承芸能であり、楽譜もなく、人から人へと口伝えによって定着してきたことを示しているといえるでしょう。

もうひとつの特徴は、ひとつの古い唄が船乗りなどの多くの職業の人々に唄い継がれ、長い距離を移動してきたこと、さらに、その間の時代の変化に合わせてながら、歌詞やメロディー、リズムなども変化しているという点です。

その昔に生まれたひとつの唄や踊りの遺伝子を受け継ぎながら、それぞれの時代、それぞれの地域に生活する多くの人々とともに、刻々と変化し続けていることも日本の民謡の大きな特徴となっています。

## 全国の民謡

次に全国の代表的な民謡について、いくつかご紹介しましょう。

### ●ソーラン節「北海道・東北地方」

北海道西北部沿海のニシン漁で唄われる仕事唄です。大きい船で獲った魚を、陸へ運搬する船にすくい上げる作業中に唄います。重労働のため、力強くそして威勢良く唄います。

### ●八木節「関東地方」

栃木、群馬、埼玉3県の境が寄り合ったあたりで唄われる盆踊り唄です。かつては、馬子たちが宿場での休憩時に空だるの蓋を叩いて唄ったそうです。

### ●こきりこ節「中部地方」

富山県五箇山地方に伝わる神楽踊りです。“こきりこ”とは乾燥した細竹を七寸五分(約23cm)に切ったもので、打つとカスタンネットのような音が鳴り、その音で拍子をとります。

### ●河内音頭「近畿地方」

大阪府八尾市を中心とした河内地方の盆踊り唄です。唄は、南、北、中河内で少しずつ異なりますが、いずれも長文の口説で、野趣味のある情熱的な唄と踊りです。

### ●安来節「中国・四国地方」

“ハイヤ節”とともに日本の港町で

唄われた”出雲節“が原曲。”出雲節“は鳥取県の海岸部一带と鳥根、岡山、広島の間部、そして瀬戸内海の島々に今も残る。”さんこ節“という唄から派生したともいわれています。

### ●刈干切(かりぼしきり)唄

#### 「九州・沖縄地方」

宮崎県の代表的民謡で、日向一円で唄われています。九州では日向に限らず、野山の広い地方では夏から秋にかけて、萱や小笹を刈り、乾燥させて冬季のまぐさ(馬の餌)にしたり、田植の前に田に入れて肥料にしたり、あるいは萱屋根を葺いたりしますが、その萱や小笹を刈るときに唄われています。

現在、宮城県東松島市にある「民謡碑」にはこんな碑文があります。

「前略」誰が唄ったかわからない唄、それが民謡だ、民謡は郷土の生活のなかに生まれる自然の声であるその美わしさは郷土の美わしさともいつまでも伝承されるであらう、

中略「おおらかな心 喜びと潤いと 憩いと それを与えるのが民謡だ、」後略」

※「民謡」の定義は研究者によりいくつかありますが、今回ご紹介のお話は、その中の一例としてお読みください。

こきりこ節の唄と踊りを伝える



刈干切唄を唄いながらの刈り入れ

